

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な分野の経験者がいる。特に保育士経験者が多いことで、児童発達支援の質が高められている。	・保育士の支援の見学や児童発達支援の活動の相談をすぐに保育士に行えるようになっている。また、児童発達支援の体験についても決まった職員だけではなく、すべての職員が体験入ること、こどもに対するアセスメント、見立てを全員が建てることのできるようになっている。	・季節の制作やイベントの開催について保育士だけでなく、指導員全員で相談、役割分担をすることで様々なアイデアの発信を促し、全体で共有することができるようにしている。
2	・フィードバックを丁寧に行い、全員が保護者から聞き取りを行っている。	・フィードバック時に、支援の様子をお伝えするだけでなく、お子さんの園、学校での様子、家庭での困り感を聞き出すようにしている。必要に応じて児発管への相談を促す等、相談内容に合わせた対応を心掛けて行っている。	・支援の見学を促している。特に新規契約をされる方には見学の必要性について説明を行い、見学時には保護者に普段の様子を積極的に聞く事で、相談がしやすいように意識をしている。
3	・情報共有の機会が多い。	・支援に入る指導員があまり連続しないように心掛けている。それにより多方向からこどもの様子を見ることができ、多くの意見が出るようになっている。	・ミーティングを出来るだけ毎日行う形を少しずつ整えた。それにより支援での様子やそれぞれの困り感を共有したり、支援の方向性についてすぐに話し合いが行えるようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・イベントが少なかった。特に保護者会などの保護者向けイベントの開催がなかった。	・開催の検討はしていたものの、業務の遅れや効率的な動きができていない部分が多かったため、新しい取り組みまで手が回らなかった。	・業務を効率化したり、イベントを早くから計画することで見直しを持って進められるようにしていく。また業務分担も再度見直し、イベントにおいても中心となる職員を立てていく。
2	・別の事業所や外部への研修機会が少ない。	・内部で様々な問題を抱え、運営が安定しなかったことにより、外部情報を取り入れることができなかった。(現在は改善出来てきている)	・他事業所への見学依頼や研修への参加を現在進めている。研修の参加のための業務調整等、まだ課題があるため大幅な変化ではなく、少しずつ改善方法を検討し実践していく。
3	・SNSでの発信が少なくなっている。(改善中)	・目の前の業務を回すことに必死になり、事業所としての取り組みや改善まで話が進まなかった。また支援の質の向上を最優先で行ってきた。	・支援の質の向上のため話し合いの形が確立されてきた。それにより少しずつ余裕が出てきており、SNSやブログでの発信について改善が進められている。外部発信に必要な内容を再度見直ししていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」沼津金岡

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

16

回収数

13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0	・運動をするのであれ、もう少し広いほうが良い。 ・遊びスペースがあり、おもちゃが整理されている。	・スペースの拡大は難しいため、机や椅子の配置を考慮したり、小スペースでできる活動を考えていく。 ・遊びスペースは今年度より新しく設置。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0		・基準人員以上の指導員を配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0	・分かりやすい環境が整っていると思う。	・支援スペースは自身の活動範囲が明確になるようにしている。 ・絵カードを使用したスケジュールボード等、視覚的に分かりやすく情報を示している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	・アルコール消毒等で清潔に保たれている。	・支援終了のたびに、机・椅子等をアルコール消毒し、清潔さを保てるようにしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	2	・特性を理解し、楽しむことができる支援を受けられている。 ・その日の状況に合わせて対応している。	・毎回支援前の情報共有を行い、こどもの状態や活動状況に配慮して支援プログラムを組み立てている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1		・今後プログラムの公表をしていく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	0	・できてほしいこと等が組み込まれている。	・フィードバック時に上げられた内容や毎回の活動状況も踏まえて、計画を作成している。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		・計画の説明時に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」について口頭で内容を確認している。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		・計画から内容が逸れることがないようにミーティングを通して支援内容を共有している。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	0	・飽きさせないように工夫され、楽しんでいる。	・支援する職員を固定化しないことで、様々な提案が行えるようにしている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	4	5		・必要に応じて検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	3	・実際に活動を見ることができて良い。 ・実際に見学をし、先生方の声掛けなどを参考にしている。	・全員に支援見学を提案し、支援状況やこどもの現状が実感できる体制を整えている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1	0	0	・毎回フィードバックがあり、共通理解している。	・必ずフィードバックを行い、気になる点について共有できるようにしている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	1	・困ったこと等、話を聞いてもらっている。 ・対応についてアドバイスもらっている。	・フィードバック時の聞き取り状況によって対応の提案を行っている。必要に応じて児発管が対応し、具体的なアドバイスを行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0	・丁寧に話を聞いてもらっている。	・家庭や学校での様子について相談を受けた際は、相談内容に応じた支援プログラムを取り組むようにしている。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	8		・今後保護者会の開催を検討していく。 また父親対象の会も検討している。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1	・困ったこと等すぐに聞いてもらって話しやすい。	・重要事項説明時に相談対応について説明している。また必要に応じて児発管からお声がけして聞き取りを行うようにしている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		・フィードバックの時間を必ず確保し、情報を共有できるようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	5	・HPやSNSでの報告は少ないように感じる。	・更新頻度を見直し、活動状況がさらに保護者に共有しやすいようにしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		・個人情報の取り扱いについて説明し契約時にサインを頂いている。 また必要に応じて、個人情報の使用許可を得るようにしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	0		・入口にマニュアルを設置し、いつでも閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	6	・小学生まで避難訓練が行われている。	・毎月の訓練の報告方法を工夫し、訓練の実施を周知していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	・子供向けに防犯等の説明の時間があっても良い。	・防災、防犯訓練の対象者を毎月検討し、意識を高められるようにしていく。 ・ヒヤリハットが事業所内に共有され、対応は都度検討している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2	・体調不良等、速やかに連絡がもらえる。 ・すぐに説明があった。	・怪我や体調不良についてはすぐに管理者に共有され、対応が検討できるような仕組みとなっている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	・楽しみに安心感を持って通所している。 ・入る時は緊張しているが、安心できる声掛けをしてもらっている。	・その日の様子に合わせて、複数の職員で対応することで安心感が得られるようにしている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	0	0	・楽しいと言っている。	・子どもが楽しめるような教材の確保、本人の希望の聞き取り、本人の状況に合わせた声掛けにより支援を楽しんで終えらえるようにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0	・絵本などの教材を教えてもらったり、家庭で出来ない制作を行っており、満足している。 ・丁寧な声掛けがある。	・支援の見学をしていただく事で、今までよりも具体的な教材紹介や対応方法を助言できるようにしている。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校	公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用者が来る前に部屋割りを確認し、適切なスペースでの支援を提供している。	・玄関の遊びコーナーは利用者の入れ替え時間等に混雑することがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・こどもの様子に合わせて補助を行う体制を取るようになっている。 ・基準人員以上の配置を必ずしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・スケジュールボードの活用により、子どもに分かりやすい環境を整えている。	・つまずきやすい箇所が見られる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃と合わせて、換気扇や空気清浄機などの清掃、駐車場の草取りなど心地よい環境を意識している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・全員が個別での療育を受けられるよう、カーテンで部屋を区切るようになっている。	・カーテンのしきりだと完全に区切れず、隣の様子が気になってしまう子どもがいる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員全体で検討している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・支援の見学を促している。特に新規契約をされる方には見学の必要性について説明を行い、見学時には保護者に普段の様子を積極的に聞く事で、相談がしやすいように意識をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや個別面談により、意見が言いやすい場面を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月1回のテーマ研修を始め、経験年数ごとに研修が設定されているため、参加を促している。	・該当者の業務を分担し、更に参加しやすいようにしていく必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・業務を効率化したり、イベントを早くから計画することで見直しを持って進められるようにしていく。また業務分担も再度見直し、イベントにおいても中心となる職員を立てていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者からの要望を含めつつ、児童の様子を考慮して計画を作成するように心掛けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・会議の開催により、各職員からの意見をまとめて計画を作るようになっている。	・共通理解のズレがたまに見られるため、改善のための話し合いを都度行えるようにしたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画がすぐに確認できるように保管をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートを使って各児のアセスメントを行っている。普段の行動については記録を活用してアセスメントしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人支援、家族支援は積極的に支援内容を検討し、実践している。	・移行支援については、園や学校との情報共有の機会をさらに増やし、会議などを提案していくようにしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・全体でプログラムの立案を相談したのち、個々で日々の支援の後に引継ぎ、共有を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・都度職員間で話し合いを行い、プログラムを見直している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・集団活動は行っているが、計画に含まない場合もある。定期的な集団活動も検討していく。	・イベントの開催を増やすことで、小集団活動を増やすようにする必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・できる限り毎日ミーティングを行うようにしている。公休の職員は個別に引継ぎにより共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援開始前の朝の時間に情報共有を行っている。翌日公休の職員は個別に引継ぎにより共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録を元に支援内容について個々でも相談できるように記入が来ている。	・記録の量や質にばらつきがみられる。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・モニタリングに限らず、必要に応じて見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・出席者（主に児発管）が事前に様子を指導員に確認した上で、出席するようにしている。	・指導員の参加がなかったが、必要性を感じる部分はあり、今後指導員の会議参加を検討していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・保育園や相談支援事業所と連携して支援の方向性を話し合う機会を作った。	・医療との連携は難しく行っていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・保育園、他事業所と連携を取って、就学に向けてのケース会議を行った。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・特定の児童はメールにて記録の共有を行っている。	・今後就学時に情報共有できるように幅広く働きかけていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・研修への参加をご案内いただいた。そのため次年度より研修への参加を検討中。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・必要に応じて対応していく。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・必ずフィードバックを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者向けイベントを検討しているが、開催に至っていない。ニーズの把握が必要。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明を行っている。また希望に応じて追加の説明を行っている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・事前に面談をすることで保護者の意向や、児童の状態把握して計画を作成するように努めている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者の同意を得られるよう普段から二一 ズの聞き取りを必要に応じて行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・内容に応じて指導員もしくは児発管が対応す る。保護者の様子に合わせてこちらから声をかけ て相談に応じるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者向けイベントを検討しているが、開 催に至っていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に相談の対応について説明をしてい る。実際に申し入れがあった場合すぐに児発 管が対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやSNSの発信を行っている。不定期 の配信となってしまっているため、定期配信 できるように現在体制を整えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報は鍵付きの書庫に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて口頭だけでなく、手紙をお渡 しするなどして情報伝達方法は配慮してい る。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・必要に応じて対応していく。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを作成し、玄関に閲覧できるよ うにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月1回の避難訓練を行っている。	・訓練に該当しなかった児童の保護者に訓練 の開催を周知できていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・基本情報シートなどで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・該当者なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・警察などを招いて対応について研修いた だく等、必要な知識を身につけている。玄関 の力ギは必ずかけている。	・想定した内容が現実的か判断が難しいこと がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に確認を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットについて見直し、どのような 場面で必要になるかを再確認したことで報告 が増えている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・社内研修に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に説明を行い、了承は得ているが、 身体拘束がなくても対応できるように対応を 検討している。		